



# 東 侯 野

## 2月号

東侯野小学校 学校だより

平成29年2月2日

「揃える」ということ

副校長 石渡範子

先日の朝会で、全校児童に私が話をしましたことについてお伝えしようと思います。

昇降口の子ども達の靴箱を見ていると、いつもきちんとかかとを合わせて靴箱に揃えている人がいます。クラス全体できている学年もあります。それは、見ていてとても気持ちの良い入れ方です。では、なぜ、かかとを揃えて靴箱にしまうことが大事なのでしょう。

靴を揃えるということは、気持ちをリセットすること。つまり悪い心をそこで絶つこと。遊びたい、怠けたい、勉強なんて嫌だ、といった気持ちを一旦切って鎮めて、「さあ勉強に向かおう。」という気持ちを作る作業が、この靴を揃えるということなのです。

お友だちの家にお邪魔したときに、玄関先で「失礼します。」と言って靴を揃え、向きを変えて並べておくことは、マナーとして大切なことです。家へ帰っても靴を揃えれば気持ちがいいし、一日のしめくくりがしっかりできると考えることができます。

とあるお寺に、藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんという住職さんがいらっしゃいます。その方は、はきものを揃えることについて詩を書いています。その詩を紹介します。

**はきものをそろえると 心もそろう**

**心がそろうと はきものもそろう**

**ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない**

**だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう**

**そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう**



靴を揃えれば勉強道具も揃え、忘れ物も少なくなるかも知れません。宿題など、毎日すべきことも、きちんとやれる人になるのかもしれない。

この日、朝会が終わった後に昇降口を見に行きましたら、まるで美しく乱れることなくどのクラスの靴箱もきれいに揃っていました。揃っている靴を見て感動しましたし、さらに、素直な子ども達であることにも感動しました。

1月21日(土)、今年も天気恵まれ、無事凧づくり凧あげ大会を実施することができました。凧を作るにあたり、東侯野凧の会、地域の方に教えていただき、お家の人達と一緒に子ども達は凧づくりに挑戦しました。一生懸命作った凧を近くの田んぼであげる子ども達の誇らしげな様子に、本校の伝統的行事の重みを感じた一日でした。皆様ご協力ありがとうございました。6年生はこの日学年閉鎖により実施を延期しました。2月13日(月)実施予定です。